



若築建設株式会社

東京本社 経営企画部

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-18

TEL:03-3492-0308 FAX:03-3492-1785

日本初となる SEP 船へ移乗のための 「セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイ」の導入について

若築建設株式会社は、日本無線株式会社の 2 軸動揺補正装置をベースとした日本初となる SEP 船へ移乗のための「セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイ」を導入します。

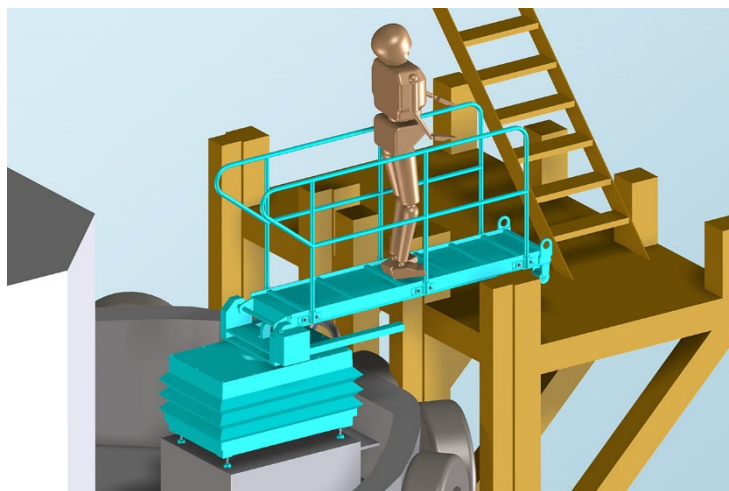
2023 年 5 月に契約締結し、同年 6 月から設計を開始し、2024 年 10 月の納入を予定しています。

若築建設の豊富な洋上作業の経験と日本無線が 60 年以上に渡り培ってきたモーション技術により、日本初となる SEP 船への移乗のための「セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイ」を実現します。

洋上風力の地盤調査や港湾工事の起重作業に使用する中小型 SEP 船は、通常の作業船では厳しい波浪状況においてもプラットフォームのリフトアップを行うことで作業を可能とします。作業員は日常的に陸と SEP 船を小型の交通船で往復しますが、波浪が厳しい状況では船舶の揺れが激しくなり SEP 船への移乗が難しくなります。その結果、作業ができず、稼働率が低下することが課題です。

「セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイ」は、小型船舶からの移乗の際に船体が大きく揺れても架橋の動揺を大幅に低減し、SEP 船へのアクセスを容易にします。各地に在港する交通船に設置され、中小型 SEP 船への安全な移乗を実現し、3 割程度の稼働率向上を目指します。

若築建設は、2023 年 10 月に共同保有を発表した大型洋上風力発電設備に対応可能な SEP と、創業以来、事業の核としている海洋土木技術により、2050 年のカーボンニュートラルに向け、洋上風力発電の容量拡大に貢献してまいります。



セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイイメージ

さまざまなシチュエーションや用途に対応する 2 軸動揺補正装置をベースとした「セミアクティブ動揺補正型ギャングウェイ」



対象となる中小型 SEP 船 (Self-Elevating Platform)

写真提供：第一建設機工株式会社

洋上風力の地盤調査や港湾工事の起重作業に用いられる。

本件に関するお問い合わせ

若築建設株式会社 東京本社 建設事業部門技術部 洋上風力開発室

担当：吉田 TEL:03-3492-0277

WAKACHIKU CONSTRUCTION CO., LTD.